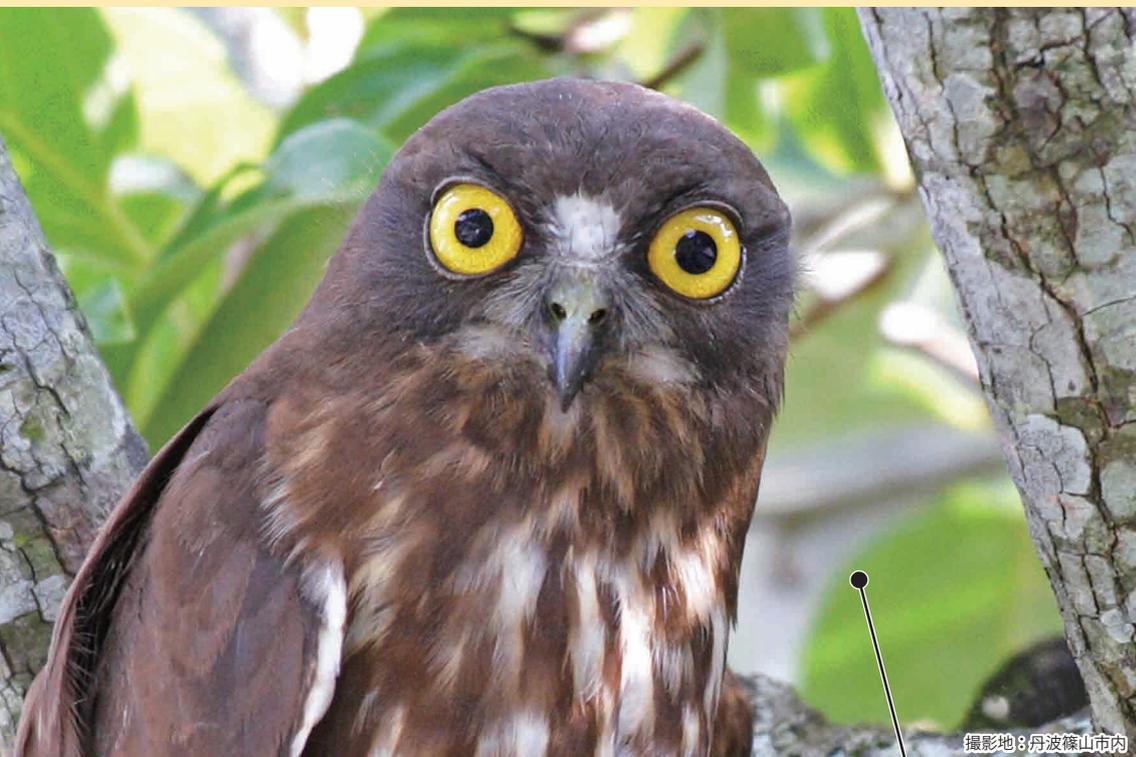


# 丹波地域 環境パートナーシップ会議

## 情報誌



撮影地：丹波篠山市内

アオバズク フクロウ目フクロウ科

2～3 ページ

### 丹波の希少種紹介

- 【動物】・オオムラサキ  
・オヤニラミ
- 【植物】・サギソウ

4～6 ページ

### 活動報告

- ・兵庫県教育委員会  
丹波教育事務所
- ・丹波佐治川自然の会
- ・丹波市  
生活環境部環境課

7 ページ

### 兵庫県庁 SDGsWEEK

令和4年10月24日～10月30日

### 丹波の森フェスティバル出展

令和4年10月30日

8 ページ

### 兵庫県功労者表彰受賞

丹波自然友の会代表 梅垣守明氏



撮影地：丹波市内

ハヤブサ ハヤブサ目ハヤブサ科

## オオムラサキ

チョウ目タテハチョウ科



オオムラサキ♂

樹液に集まる  
オオムラサキと  
カブトムシ

オオムラサキ越冬幼虫調査

「兵庫丹波オオムラサキの会」では、丹波の森公苑に設置している大小4つのケージでオオムラサキを育てています。オオムラサキは6月から7月にかけて羽化し、成虫は樹液、幼虫はエノキの葉を食べ成長します。7月から8月にかけてエノキの葉に産卵し、冬季の幼虫はエノキの落葉で越冬します。

会では十数年継続して越冬幼虫を調査しており、生息場所や生息密度は、丹波篠山市の方が丹波市より多い結果が出ています。理由ははっきりとはわかりませんが、広葉樹と針葉樹の割合などが関係しているのではないかと推測しています。

## サギソウ (鷺草)

ラン目ラン科



日当たりのよい湿地に生える日本原産種。前年の送出枝の先端にできた円形の球茎から地上茎を出します。7月～8月に白い花を咲かせますが、その姿は白鷺が舞うようで美しい。花弁は3枚で、2枚の白色の側花弁はゆがんだ卵形、1枚の唇弁は大きく、3深裂します。唇弁の中裂片は披針形で

すが、側裂片は側方に斜扇形で縁は深く細裂します。この側裂片が白鷺が羽を広げたように見えるので、サギソウと和名が付けられました。

サギソウの花粉を運んでくれるスズメガは、ホバリングして蜜を吸うとされてきましたが、唇弁のギザギザに脚をかけて体を安定させて、蜜を吸っていたとの報告があります。

唇弁の白鷺が広げたような形は花粉交配に重要な役割を果たしています。

## オヤニラミ

スズキ目ケツギョ科



スズキ目の唯一の淡水魚。由良川以西の本州、四国北部、九州北部に分布。肉食性で小さな水生昆虫などを好みます。

オヤニラミという名は卵を守り世話をするオスの行動からきています。

えらぶたの後ろに目の大きさほどの円形の斑点(眼状紋)があり、目が4つに見えるのが特徴です。

## 兵庫県教育委員会 丹波教育事務所

兵庫県教育委員会では、兵庫型「体験教育」として、小学校3年生で環境体験事業、小学校5年生で自然学校を実施しています。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県下において活動が難しかった地域もあると聞いていますが、丹波地域においては豊かな自然環境を生かして、工夫をこらした活動を行えました。

自然との触れ合いや身近な生活の中での気づき、発見をきっかけとして、環境に関心をもち理解を深め、自然に対する豊かな感性を養います。また、命の大切さや命の連鎖を実感させ、自然に対する豊かな感性や命を尊ぶ心を育てています。

学校における環境教育の取組を表彰するグリーンスクール表彰において、丹波地域からエントリーした学校が環境保全部門で3年連続表彰を受けています。

今後も丹波地域の豊かな自然を生かして、自然の循環や自然と人とのつながりを知ることで子どもたちのふるさと意識を醸成してまいります。



枝豆栽培



米作り体験



枝打ち体験



オオサンショウウオ観察会  
(グリーンスクール表彰)



スイカ栽培



# 丹波佐治川自然の会

「会」の発足から16年、活動も年齢も「高み」を目指しています。

私たちは、一級河川「加古川（86,509m）」の最上流部で生活し、下流域には、きれいな水を届けていく役割を負っています。このことから、河川環境について活動することは地域活動への広がりになり、そして会員も好きな活動で楽しめることで行動を始めました。活動場所は主に、青垣町域の佐治川です。

2006年7月1日（平成18年）設立・会員数6名・不定期活動です。

活動は、

- ・ 佐治川の上流に自生するバイカモの保全と再生活動
- ・ 子どもの遊びや小学校の環境学習支援
- ・ 佐治川の動植物調査と水質調査
- ・ ミヤマアカネの生息調査
- ・ 地元住民、行政機関及び、研究者、他団体との連携と交流
- ・ その他の活動（アストラゼネカ社の社会貢献活動との連携など）



バイカモ自生地



川遊び



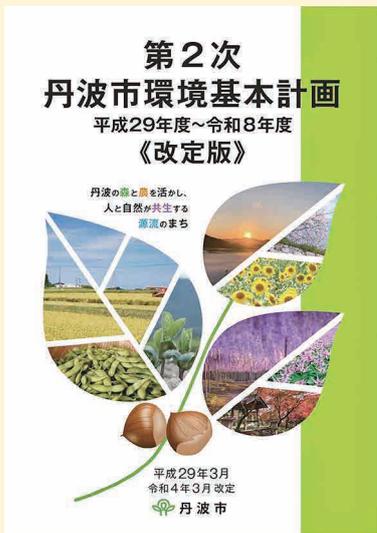
## 丹波市 生活環境部環境課

丹波市生活環境部環境課では、本年3月に第2次丹波市環境基本計画の改定を行いました。本計画（10年計画）では、4つの基本目標を定め、目標ごとの施策の方向性に沿って、目指すべき将来像【丹波の森と農を活かし、人と自然が共生する源流のまち】の実現を目指していますが、策定から5年が経過したことから、今までは取組項目の一つだった「地球温暖化の防止」を追加し、基本目標を5つにするなどの見直しを行いました。

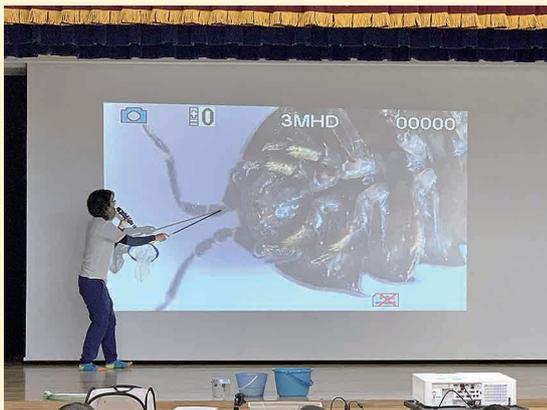
また、令和3年10月から生物多様性分野に係る地域おこし協力隊員として、尾形真依子隊員を委嘱しています。

尾形隊員は、現在市内のこども園や子育て学習センターなどで「しぜんたいけんプログラム」を実施するなど、生物多様性の体験や普及啓発を行っています。

「しぜんたいけんプログラム」では、虫取りをしてから虫の拡大観察など、普段目にしない部分を見ることができ、子ども達の好奇心を刺激しています。また、親子で「しぜんたいけん」に参加してもらうことで、子どもだけでなく親も自然に触れるきっかけとなっています。



計画表紙



虫を拡大観察している様子 (しぜんたいけんプログラム)

### 4 環境施策の方向性と施策体系

| 目指すべき将来像                  | 共通目標       | 基本目標                         | 施策の方向性   |
|---------------------------|------------|------------------------------|--|
| 丹波の森と農を活かし、人と自然が共生する源流のまち | 地域循環共生圏の構築 | 基本目標 1<br>“里地里山”の保全・再生と循環利用  | <ul style="list-style-type: none"> <li>里地里山の保全・再生 (47ページ)</li> <li>里地里山を活かした循環型社会の実現 (48ページ)</li> <li>生物多様性の保全 (48ページ)</li> <li>有害鳥獣や外来生物の防除 (49ページ)</li> <li>自然環境の保全・育成につながる人づくり (49ページ)</li> </ul> |
|                           |            | 基本目標 2<br>資源を大切にするライフスタイルの定着 | <ul style="list-style-type: none"> <li>5Rの推進 (53ページ)</li> <li>ごみの減量化 (55ページ)</li> </ul>  |
|                           |            | 基本目標 3<br>地球温暖化の防止           | <ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素社会への移行 (58ページ)</li> <li>新・省エネルギーの活用 (59ページ)</li> <li>気候変動に備える (59ページ)</li> </ul>   |
|                           |            | 基本目標 4<br>快適で安心して暮らせる環境の保全   | <ul style="list-style-type: none"> <li>公害の未然防止と拡大抑制 (65ページ)</li> <li>河川環境の保全 (66ページ)</li> <li>景観保全の推進 (66ページ)</li> <li>自然環境等を活かした移住・定住の促進 (67ページ)</li> </ul>   |
|                           |            | 基本目標 5<br>人の輪で育む環境づくり        | <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の自主的な取組の推進 (72ページ)</li> <li>環境学習の推進 (73ページ)</li> <li>市の率先した取組の推進 (73ページ)</li> </ul>   |

計画における基本目標

# 兵庫県庁 SDGs WEEK

令和4年10月24日(月)～10月30日(日)

「SDGs (持続可能な開発目標)」は、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの達成を目指す、「17の目標」と「169のターゲット (具体目標)」で構成された国際社会の共通目標です。

丹波地域環境パートナーシップ会議では、会員の方々の活動を通じ、SDGsの達成に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



丹波地域環境パートナーシップ会議ブース

丹波の森

2022

フェスティバル  
に出展しました

R4. 10. 30 丹波の森公苑



環境学習紙芝居の様子



# 令和4年度 兵庫県功労者表彰(環境功労)

## 受賞おめでとうございます



丹波自然友の会代表の梅垣守明氏が令和4年度兵庫県功労者表彰を受賞されました。

梅垣氏は、丹波自然友の会の代表として、地域における環境保全意識の向上のため様々な活動を展開されました。また、平成11年から自然保護指導員として丹波地域の自然保護に大きく貢献されました。

皆さまからの  
ご意見・ご感想  
お待ちしております！

編集・発行

丹波地域環境パートナーシップ会議

事務局 兵庫県丹波県民局県民交流室環境課

〒669-3309 丹波市柏原町柏原 688

TEL 0795-73-3774

FAX 0795-72-3013